

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境								3.3
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	-	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	2.6	1.00			2.6
2.1 室温制御		3.0	1.00	3.0	0.50			
1 室温		-	-	3.0	0.63			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	1.00	3.0	0.38			
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	1.0	0.20			
2.3 空調方式		-	-	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.6	1.00			3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.30			
1 昼光率	共用部(イントラス):27.1%、専有部(Bタイプ):3.9%	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	専有部:カーテン、庇を採用	2.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気環境		4.2	0.25	4.5	1.00			4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF の建材を使用、低VOC材を使用	5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	専有部:居室面積の1/6以上	3.0	-	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1
1 機能性		3.4	0.40	3.6	1.00			3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応	各住戸で100Mbitクラスのブロードバンド使用可能	3.0	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	水洗浄に配慮:タイル貼り、埃のたまりにくい配慮:凹凸の少ない壁	5.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	清掃用資材置場の確保(階段下倉庫)、共用廊下に電源を確保	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31	-	-			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.7	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B使用:給水:硬質塩化ビニルインゲ鋼管・排水:硬質塩化ビニル管、E不使用	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性		3.0	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性		3.1	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり		-	-	2.6	0.50	
1 階高のゆとり		3.0	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.1	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく修繕、更新ができる	4.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	景観条例(事前協議)提出済	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.0
1 建物の熱負荷抑制		3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		3.0	0.40	-	-	3.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	#VALUE!	5.0	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	-	-	-	
4 効率的運用		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.5	0.63	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	グリーン調達品の陶磁器タイルを床・壁、断熱材をスラブ下、ビニル床材を床に採用	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	木下工法のため、躯体と仕上げが容易に分別可能	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		4.0	0.22	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まないシーリング材を使用	4.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.68	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡剤を使用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率91%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	十分な幅員の敷地内車路及び切り返しスペースの確保	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明なし	4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	